

# えみちゃんレポート No16

茨城県政報告

2015年8月3日発行



茨城県議会議員 設楽詠美子(しだらえみこ)

住所 筑西市二木成993  
電話 24-9119  
FAX 48-8022

戦後そして、女性の政治参加が実現し70年、女子差別撤廃条約が締結し、男女雇用機会均等法が制定され30年を迎えております。

## 「命を守ること、そしてバトンをつなぐこと」

これが私たちの使命だと思っております。これから育っていく子どもたちに平和な世界をつくり、二度と戦争はしない、参加しないことを伝えていくことが大切だと強く感じております。私は、政府が閣議決定した**平和安全法制に反対**しております。

そして、命を産み育む女性は夢をもち、社会に出て働きます。男女が力を合わせて、悲しみや苦しみを乗り越えて未来をつくることをお約束します。



全国女性議員ネットワーク会議では、宮城県議会議員の「ゆさみゆき」氏と私、「しだらえみこ」が発起人となり産休ネットワークの**立ち上げ準備**をしております。すべての地方の議会規則に出生による理由で、本会議や委員会を欠席できる規定を明記し、安心して産休できる環境を整えます。

茨城県では**県と日立市のみ**の議会規則にしか、**出産を理由とする欠席が明記されていません**。女性議員の更なる誕生をめざし、規則の改定と環境整備に力を注いでおります！

## 保健福祉委員会の視察

### その1. 佐久医療センター

急性期の新しい病院が誕生しました。初代病院長の若月俊一先生の遺志が立派に引き継がれておりました。

「医療は民衆のものであり、民衆がつくるものである」

出張診療と健康教育としての農村劇場を終戦時期よりはじめ、今なお、予防医学・在宅医療を行っております。



佐久医療センター

### その2. にぎやか「富山型デイサービス」

高齢者も、障害者も、子どもたちも一緒に！

「出会ったら最後まで」を合言葉に始まった施設です。

地域で看取りを実現できる大家族のような施設で、死を生活の中の一つの出来事として受け入れ、「ほっ」とする居場所になっております。



デイサービスでみなさんと

## 地域医療再生基金25億円の予算が第一回定例議会で可決！

新中核病院建設に向けた予算が可決されました。筑西市協和保健センターに新中核病院建設推進のための事務所を置き、県から保健福祉部の職員1名が派遣され、平成30年10月を目標に、病院建設が進められています。

※新中核病院に向けたパブリックコメントがはじまっています。

皆さまからのご意見をお待ちしています。(8/17まで)

提出先：中核病院建設推進課 TEL 0296-24-2111(市役所代)

## 医師確保、力を合わせて頑張っています！

新中核病院の医師確保は、筑波大学付属病院が茨城県に唯一の医学部として医師の派遣を積極的に考えています！



五十嵐病院管理者

松岡保健福祉部長

## 茨城県睡眠医療センターが4月からスタート！

(27年度予算 48,023千円)

### 「寝ているときに病気はつくられる」

人生の1/3は睡眠であり、特に**睡眠時無呼吸症候群は、脳卒中や急性心筋梗塞など生活習慣病と大きく関係している**と言われております。精神科領域においても見落とされるケースがあり、茨城県立こころの医療センター内に設置されました。



これまで筑波大学で診療していた佐藤誠先生をセンター長に、**歯科・医科の連携をはかり充実した医療**を提供します。

「夜、息が止まっていると言われる方、昼間、強い眠気に襲われる方の受診をおすすめします！」

## 地域で看取る ～在宅医療・介護の連携推進事業

(27年度予算 141,282千円)

地域の中で安心して人生をおくるために、医療と介護の連携モデル事業がはじまり3年がたちます。約6割の方が地域で最期を過ごしたいと考えておりますが、実際は1割しか実現できない状況があります。

筑西市には、今年度は4,300千円の交付が決定しました。医療と介護の現場のスタッフの連携を強化するために、今年度の第1回目は、**在宅でも口腔ケアや診療が充実**するように高野雅行先生による「在宅療養者の口腔ケア～情報連携シート(歯科口腔の状態)の活用方法～」の勉強会が開催されました。他業種の皆さんから、お口のなかをじっくり見る機会がなく勉強になったとの感想が寄せられました。



ベストカップル in 筑西



④ 情報連携シート

頬・上あご・粘膜・舌の異常や変化

病変の部位・状態等を記入

図に直接記入

食物残渣  
外傷  
潰瘍  
麻痺  
腫脹  
など



## 産み育てたい！茨城県「子ども部」の創設にむけて！

茨城県に引っ越してでも産み育てたいと思っていただくには、安心して子育てをしながら、働き続けられる環境が必要です。こども園や保育所、放課後児童クラブ、そしてファミリーサポートセンターの充実などが不可欠です。

「0歳児保育は空きがなく困っています……」

「4年生になっても、学童保育を続けたいけれど……」

茨城県は、子どもたちを中心に乳幼児から学童・青年期まで部局横断的に総合的な支援をする必要があると考え、子ども部の創設が必要になっています！

### 【保健福祉部長】

新制度に基づき、施設の整備のほか、地域型保育事業の実施、多様な保育サービスの提供を通じて、待機児童の解消を図ります。そのために必要な保育士の確保は「子育て人材支援センター」を設置して確保してまいります。放課後児童クラブに関しては、教育機関との連携をすすめて、発達障害児も安心して預けられる研修を継続して行います。

子ども部の創設は、今後、関係部局との協議をするなど、検討してまいります。



筑西ファミリーサポートセンター「まんま」事務所をOPENしてスタッフが常駐しています。

## 生活困窮者世帯の子どもたちに学習支援が必要になっています！

日本では、正規雇用などの安定した雇用機会の縮小などにより、生活困窮者が増加しております。現在、国会で審議されている労働派遣法改正案は、非正規雇用の拡大につながり、一生涯正社員になることができないまま働くことを可能にするもので大きな問題があります。

「ひとり親家庭」の子ども達の貧困率は5割超、

生活保護世帯で育った子どもが大人になった時、その25%が生活保護を受給！このような負の連鎖を断ち切るため、国では生活困窮者自立支援法が施行され、学習支援事業が任意で行えるようになっていきます。子どもたちが心の落ち着く場を持ち、十分に教育を受けられる環境づくりが必要と考えますが？

	平成12年	平成25年
非正規雇用	26.0%	36.7%
年収200万円以下の給与所得	18.4%	23.9%

【保健福祉部】県としては、教育部門を含め幅広く関係機関と連携をしながら、生活困窮者世帯の学習支援に積極的に取り組んでまいります。

各市の学習支援事業の実施意向を調査したところ、市の福祉部門での学習支援の経験がないことや委託の受け皿となるNPO法人等が限られていることなどから実施団体は1市にとどまっている状況です。

※8月26日(水)に栃木県と埼玉県の最新事例の視察を予定しております。視察結果につきましては、次回のレポートで報告する予定です。

### ●意見交換や県政報告会を随時受け付けております。

しだらえみこ事務所 茨城県筑西市二木成993

TEL 0296-24-9119 FAX 0296-48-8022

Email:eshidara@peach.plala.or.jp

HP:http://www9.plala.or.jp/eshidara/

Facebook 更新中: [しだらえみこ](#) 検索

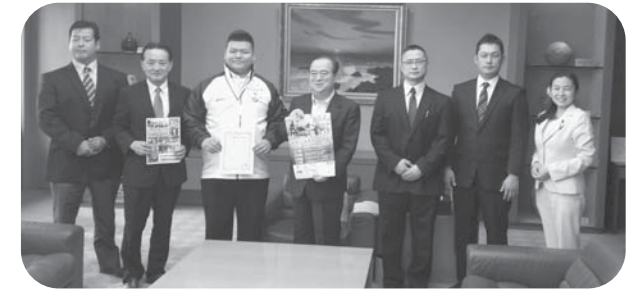


空たかく わっしょいひびく 子ども神輿

## 知事のもとに表敬訪問に出かけました！



茨城唯一の女子野球チーム「茨城ガールズ」尚美学園杯女子野球大会優勝！



世界一!! 世界ベンチプレス選手権大会優勝 下館工業高校 須藤健介さん

## 高校生のライフプランや性に関する指導の充実について

性感染症の罹患率は、低年齢化が進み、罹患数は15歳～19歳で増え始め、20～24歳で2倍になりピークを迎えます。性行為は、将来の計画を考えて行うことが大切です。

適切な時期に結婚して、出産することは、人生をとっても楽しくします。県の不妊治療を受ける男女が増加しており、助成額はこの10年で10倍になり、平成26年度予算では約4億円を上回っています。晩婚化による卵子や精子の加齢の影響や性感染症の罹患は、不妊と関係すると考えられます。

以上を踏まえると、高校生に対する適切な教育は重要です。

ライフプランと性に関する授業の連携やピアエデュケーション(大学生など近い年代からの教育)の充実が必要と考えますが？

【教育長】学校教育全体の中で、生徒が妊娠や出産などについて理解を深め、自己の人生設計に見通しを持ち、主体的に行動する力が身に付けられるよう、ライフプランニング及び性に関する指導のさらなる充実を努めてまいります。ピアエデュケーションに関しては、議員のご提案を受け、学校保健指導者研修会などで事例を含めて拡大に努めてまいります。



## あかちゃん縁組が必要になっています！

虐待による死亡の約半数が0歳児という悲しい現状があります。望まない妊娠した女性と、不妊等により里親を希望するご夫妻とのマッチングが必要と考えます。生後3か月の間に、一貫して愛情のこもった関係であることが最も深い絆をつくると言われております。

愛知県では、この10年間で96人の赤ちゃんが里親に委託され、乳児院でなく家庭で育てております。茨城県での乳幼児の委託の状況は、



【保健福祉部長】茨城県では、乳児院に委託することを優先させており、里親への0歳児の委託の仕組みがありません。しかし、議員からの指摘もあることから、里親に委託できる仕組みもケースバイケースで検討していきたいと思っております。